

学習目標		
(1)創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2)材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。 (3)親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。		
	単元・題材名	学習内容
4月	心のもよう	・自分の気持ちをいろいろな形や色で表す。
5月	伝え合いたい思いや気持ち	・自分の思いを伝えるポスターをつくる。
6月	消してかく	・ぬりつぶした画面を消しゴムで消しながら、思いついたことを表す。
7月	コマコマアニメーション	・アニメーションの仕組みを使って楽しい作品をつくる。
9月	心の形	・感じたことや思ったことを立体に表す。
10月	立ち上がれ！マイ・ライン	・はり金の曲げ方、まき方、立たせ方をくふうして、思いついた立体に表す。
11月	じっと見つめてみると	・ふだんの生活や身の回りを見つめ、その時に感じた印象を表す。
12月	くねくね糸のこパズル	・電動糸のこぎりを使って板を切り、楽しく遊ぶものをつくる。
1月	物語から広がる世界	・心が動いた物語の場面から想ぞうを広げて表す。
2月		
3月	何をかいているのかな	・何をかいているのか想ぞうしながら、作品を見ることを楽しむ。
評価の観点		
<b>【造形への関心・意欲・態度】</b> 自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形的表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。		
<b>【発想や構想の能力】</b> 見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えたりするなど、豊かな構想をする。		
<b>【創造的な技能】</b> 表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。		
<b>【鑑賞の能力】</b> 造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。		
評価の方法		
学習用具や材料の準備、活動の様子、作品、発言、鑑賞カード（自己評価 相互評価）など		